

令和4年度第2回中小企業者等振興対策協議会会議録要旨

- 1 招集年月日 令和4年10月27日(木)
午後2時00分から午後3時35分(1時間35分)
オンライン開催(Zoom)
- 2 出席委員 7人
- 3 出席職員 事務局4人
- 4 会議日程
 - 1) 開会
 - 2) 協議事項
 - ① 吉野川市チャレンジ事業支援給付金事業者へのヒアリングについて
 - ② プレプレゼン大会の在り方について
 - ③ 第2回吉野川市商工振興プレゼン大会の概要について
 - ④ 商業地域活性化支援事業等の見直しについて
 - ⑤ コロナ対策事業の今後の取り組みについて
 - 3) その他
 - 4) 閉会

5 会議の経過

【日程2 協議事項】

(1) 吉野川市チャレンジ事業支援給付金事業者へのヒアリングについて

「山辛ペッパーズ」

(状況報告)

- ・14軒の農家が集まってとうがらしの栽培を始め、3年目になった。苗の生育を統一するためにビニールハウスを作り、今年度3年目については苗の本数も前年2,000本から3,000本に増やして販売した。生産や加工については、これまで携わってきた分野であり、知識があるが、販売についてが課題である。販売ルートをもう少し開拓し、作れば作って加工すれば売れるというような状況を進めていきたいと思っている。

(委員より)

- ・SNSを活用し、販路を広げるのがよい。団体の構成員でSNSの活用が難しければ、地元の高校生などにサポートしてもらおうとそこでまたつながりができるのではないか。

「株式会社アクト」

(状況報告)

- ・廃棄する塗料を固化する薬剤を開発するのに今回の給付金事業を利用。販売したのは1、2回程度。サンプルを送付し、試験的に使用してもらって

いるところもあるが、まだ定期的な購入には繋がっていない。海外では廃液の処理が盛んなこともあり、インドネシアの顧客へサンプルを送付する予定。ホームページにも掲載し、インターネットショップでも購入可能となっている。

(委員より)

- ・企業組合などを通じて複数の会社サンプルを送付したり、本協議会などで廃液処理に需要がある企業を集め実証実験を実施したりすることによって、広報を行っていく必要がある。

「有限会社吉田商店」

(団体より状況報告)

- ・本事業の支援金で吉野川市の藍農家でとれる藍の種を使った「元気の種茶」の商品化を行った。コロナ禍ということもあり、実際に試飲してもらうことは難しかった。藍の種茶について疲労回復効果があるということSNS等を通じてPRしていく予定だったが、薬事法の関係で効能を活字で記載することが難しく、実際に対面での営業しかできないことが1つの大きな課題である。また、アスリートに向けての販売を考えていたが、ドーピングなどの問題もあり、そもそもターゲットとしていた販売が難しくなった。

(委員より)

- ・高齢者福祉施設で試飲会を実施するなど販売促進の取り組みをしてはどうか。

(2) プレプレゼン大会について

- ・12月18日の吉野川マルシェ開催時に同時開催予定。開催場所は日本フネン市民プラザ。
- ・難しく考えず、プレゼンしたい人の意見を自由に聞く場とするのではよいのではないか。各委員からの推薦もあり。
- ・プロジェクターが屋外でも投影されるのか確認が必要。

(3) 第2回吉野川市商工振興プレゼン大会の概要について

- ・来年度令和5年度6月から7月に大会の公募をかける予定。
- ・プレゼンター候補として、学生枠・社会人枠等を設定し設定しまして、2部構成で実施したいと考えております。評価等は委員さんをお願いしようと考えている。
- ・チャレンジ事業支援給付金の採択事業者もプレゼンターに入れてもよいのではとの意見もあり、候補者の募集については、今後検討していく。

(4) 商業地域活性化支援事業等の見直しについて

- ・ 現行の制度から改装費補助を廃止し、家賃補助の期間を1年から3年に延長することで、総額としては増額となり、長く支援を続けることが可能となる。
- ・ 家賃補助するよりは家主と交渉して家賃を下げることをすべき。また、売上が上がるように誘客する方に力を入れるべきで、その方が長く続く流れが作れる。

(5) コロナ対策事業の今後の取り組みについて

- ・ 「おえクーポン券」を12月から配布できるよう進めていく予定。
- ・ 市内で経済を回せるような仕組みや施策を実施していくことが重要。

【日程3 その他】

- ・ 12月18日開催プレプレゼン大会の開催のお知らせについて

【日程4 閉会】